

TRAIL

いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」

第74号 2021年9月17日発行

いわき市産業振興部

【全国】先行き、コロナ禍の更なる経済への悪影響が懸念！ 回復は冬以降か！

【いわき市】分野ごとでプラス・マイナスのまだら状態！今後の“コロナ禍”の影響次第！

【経済・景気四方山話】

“企業の農地所有”の在り方が迷走！

— “特区”での審議で探る！ —

21年第Ⅱ期(4-6月)の国内総生産(GDP)(8/16発表*)は、住宅、設備投資、個人消費、政府消費(ワクチン購入、医療費増)等がプラスに転じたものの全体は1.3%(年率換算。一次速報値)と低めであった。まだコロナ前の19年10-12月を下回る。

GDP(実質値) 推移					
年	四半期	兆円	前期比	年率	
19	Ⅳ	10-12	547	-1.6%	-6.3%
	I	1-3	527	0.9%	-3.4%
	Ⅱ	4-6	484	-7.8%	27.8%
	Ⅲ	7-9	507	5.0%	21.4%
20	Ⅳ	10-12	542	3.0%	12.7%
	I	1-3	534	-1.3%	-5.1%
	Ⅱ	4-6	539	0.3%	1.3%
	Ⅲ	7-9	507	5.0%	21.4%
21	Ⅳ	10-12	542	3.0%	12.7%
	I	1-3	534	-1.3%	-5.1%
	Ⅱ	4-6	539	0.3%	1.3%
	Ⅲ	7-9	507	5.0%	21.4%

経済・景気全般の総合判断を示す「月例経済報告」(8/26発表)は、サービス支出の抑制から“持ち直しが続いているものの、一部で弱さが増している”と、4か月連続で判断を据え置いた。しかし先行きは、“感染拡大の下振れリスク”から“感染の動向が内外経済に与える影響”と表現を強め、コロナ禍の経済リスクの拡大への懸念を注意すべき、とした。回復は冬以降とする向きが多い。

* 9/8発表の第2次速報値は、年率1.9%に上方修正。

目次

全国：先行き、コロナ禍の更なる経済への悪影響が懸念！ 回復は冬以降か！

いわき市：分野ごとでプラス・マイナスのまだら状態 今後の“コロナ禍”の影響次第！

経済・景気四方山話：“企業の農地所有”の在り方が迷走！
— “特区”での審議で探る！ —

【いわき市の動向】

I 経済・景気調査：2021年第1四半期(1-3月)

1. 経済の動き(主要部門別・主要経済データ) 3
2. 景気の動き(景気動向指数) 9

【参考】— 景気動向指数の内容 — 国・県の動き

II 景気ウォッチャー調査：2021年8月時点 16

■ いわき市の動向

● 経済・景気調査

大規模店舗販売額以外、ほとんどの分野が悪化した前期に比べ、今期は、分野ごとでプラス・マイナスのまだら状態。今後は、やはり“コロナ禍”の影響次第。

【需要動向】

大規模店舗販売額が6四半期ぶりにマイナスに転じた。新設住宅戸数と自動車新規登録は、

それぞれ2四半期、6四半期ぶりに前年水準を上回った。観光施設利用は下げ止まりの兆し。

【企業動向】

信用保証承諾額は減少したものの、法人市民税調定額は引き続き減少と企業業績は不振。なお、企業倒産は2件と前年同期並み。

【雇用動向】

有効求人倍率は19か月連続で前年水準を下回ったものの、新規求人倍率は2か月ぶりに前年水準を上回った。

● 景気ウォッチャー調査(21年8月時点)

全業種(総合)の現状判断DIは、すべての業種が低下し、前回より9.6ポイント低下となった。先行き判断DIも、企業動向関連が上昇したものの、

家計関係と雇用関連が下降し、全体では前回より9.1ポイント低下した。8月時点の本調査がこうも低下していることは、経済・景気の実勢が下降局面にあるものとみられる(経済・景気関連のデータ期間は4-6月)。“市内景気の自由意見”でも、経済・景気下降に関する切実な訴えが多い。

(産業創出課)

いわき市経済・景気判断の推移			
年	四半期	判断内容	
20	I期：1-3月	“下降”のなか、3月には新型コロナ禍の影響！ 今後の悪化に懸念！	
	II期：4-6月	深刻なコロナ禍！回復努力に期待！	
	III期：7-9月	今期もコロナ禍の影響！ 強まる先行き不透明感！	
	IV期：10-12月	コロナ禍の悪化テンポのなか、やや下げ止まってきた分野がみられる！	
21	I期：1-3月	ほとんどの分野で悪化、厳しい状況に！ 今後はコロナ禍の終息頼み！	
	II期：4-6月	分野ごとでプラス・マイナスのまだら状態！ 今後のコロナ禍の影響次第！	

景気ウォッチャー調査(21/8)

区分	現状判断DI		先行き判断DI	
	今回	前回差	今回	前回差
全業種	23.8	-9.6	38.9	-9.1
家計	20.6	-9.0	36.6	-12.2
小売	20.2	-8.5	34.6	-13.5
飲食	20.0	-10.0	35.0	-20.0
サービス	15.8	-14.0	36.1	-9.1
住宅	32.1	0.0	46.6	-10.5
企業	29.4	-11.4	45.6	2.2
雇用	41.7	-4.7	41.7	-11.9

■ 経済・景気四方山話: “企業の農地所有”の在り方が迷走！ － “特区”での審議で探る！ －

国家戦略特区は、特区内で規制緩和の効果を実証し、高い効果があれば全国に拡大する制度である*1。14年に特区採択の養父市（ヤブ市）の目標は“中山間農業の改革拠点形成”で、その中の“企業の農地所有”の扱いに注目していたが、良い結論は得られなかった。本稿では、この過程をまとめた「論壇」に拠りながら*2、その要因を考える。

*1 本誌第45号H26年6月参照。

*2 “企業の農地所有－国会における論議から－”（「論壇」（公財）都市化研究公室 HP。著者：同公団理事長光多長温）。「論壇」のファクトの部分を引用。評価・考え方は筆者。

同特区においては採択以降、①農地所有適格法人の要件緩和、②農業委員会の農地権利移転業務を市へ移管、③農地内レストラン経営等、④企業の農地所有*3等の成果を上げてきた。ただ④は、“養父市に限り農地所有を5年間認める”となっていたため、期限を迎え特区諮問会議や国会特別委員会等で“終結か延長か”が議論された。

議論の根源は、農地は誰が所有すべきか、である。農地法では、“農地は耕作者が所有すべきであり、農地を農地以外に使うのは規制”されている。ただ今は、農地のリースや農地所有適格法人（農業法人）による耕作が認められている。ただし同法人が株式会社の場合、過半を占めていなければならない株主*4の議決権に株式会社が含まれていない。これに関して養父ケースで議論された主な内容は、以下の表のとおりである。

“養父ケース”に関する主要論点

区分	内容	“養父ケース”の実績・扱い
農業そもそも論	農業は家族経営が基本。企業の農地所有は、企業の農業法人への出資で行う。	ここ数年、農業の活性化は、ほとんど進出企業で行われている。リース方式が多い。
企業性悪説	企業が農地を所有すると悪用する懸念がある。	企業が他の用途に転用した時は市が買い戻す。
実績の評価	農地所有はリースの比で営農面積が小さい。企業所有の効果が不明確。	特段の問題がないの全国展開すべきor中山間地域に限定すべし（両論）。

（注）「論壇」の文章内容を筆者が要約・意識して作成。

*3 主な実績は、進出企業13社。農地リース・所有51ha（リースから所有に切り替えた企業を含む）。雇用者増約100人。農地取得企業6社9件。取得面積16.5千㎡。

*4 主な資格は、①法人に農地等の所有権を移転あるいは農地等の使用及び収益をさせている個人、②法人の行う農業に常時従事する者、③法人に農作業の委託を行っている個人、⑤農地中間管理組織、⑥自治体、農業協同組合等。

掲載表の主要議論を背景に、特区の諮問委員会及び国会等では、主に以下の審議が行われた。

○ 20年11月6日、自民党農林部会

企業の農地所有を反対する農林省の“全国展開や要件の見直しは全く必要ない”を決議。

○ 20年12月21日、諮問会議

農林大臣が“養父ケースは評価できない”と。民間議員は“企業の農地所有の全国展開”を主張。結局、首相預かりに。

○ 21年1月15日、諮問会議（持ち回り）

来年度、政府が養父ケースの特例に対する全国のニーズと問題点を調査することに。

○ 21年5月7日、参議院特別委員会

自民党：全国展開を全面的に反対。立憲民主党：全国展開を否定。維新の党：全面的賛成。共産党：株式会社性悪論から全面的反対。結局、養父特例の2年間延長と附帯決議*5が採択。

*5 ①“養父ケース”をさらに深く調査する。この評価をもって全国展開をしない。②目的外使用が無いよう配慮する。

③上記調査は全国展開を前提としない。

以上のように中途半端なものになったが、その要因の一つは、特区制度に対する利害関係者の取り組み姿勢に問題がある*6。特区では賛否の議論を互いにぶつけた上で最善の結論を得るものである。しかし、上記の経過から透けて見えるのは、例えば頑なに現制度を保守するだけで議論にも参加しようとしないうちにみえる農林省とバックにある農林族のスタンスである。深刻な農業従事者の減少、後継者不足等を抱える同省は、企業の農地所有をどう考えるのか、を諮問委員会に示し、もっと広く議論すべきであった*7。

もう一つの要因は、利害関係者に企業行動への不信があることである。よく株式会社の不法投棄が新聞報道されるが、そのほとんどは手続きとか経営の不味さなどの問題である。本誌前号で示した渋沢栄一の“道徳経済合一”やドラッカーの“株式会社の社会的役割”のように、今、株式会社は、株主やESG等社会的評価の監視下にあり“性悪”ではない。養父ケースでは、企業が他用途に転用した場合は市が買い戻す方法を生み出している。

ともあれ、企業による農地経営を導入して、今の農業のもつ課題を解決すべき良い時期にあると考えるのがいいか。なお、特区制度の有効性について考え直すことも必要と考える。

*6 安倍内閣時の“モリカケ問題”が特区制度の位置づけを落としていることも無関係ではないと思われる。

*7 全国29事業のうち、5事業が全国展開されている。

（東日本国際大学名誉教授 大川信行）

I 経済・景気調査：令和3年第Ⅱ四半期（4～6月）

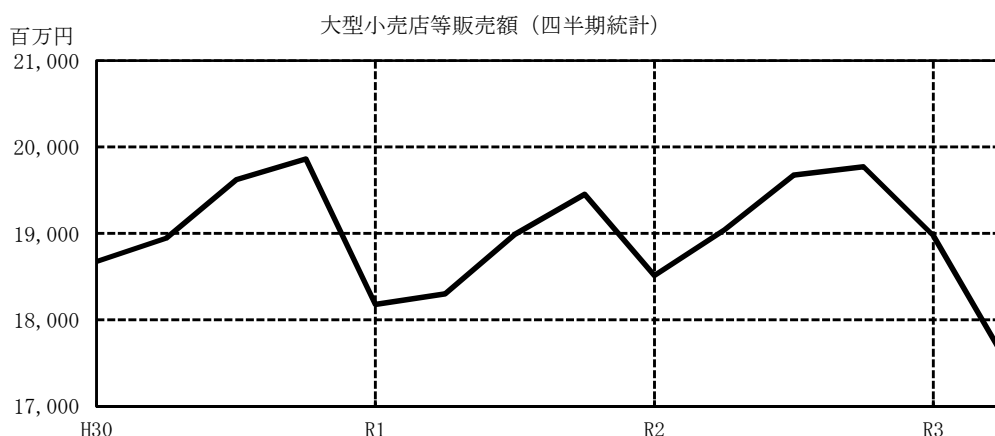
1 いわき市の経済の動き

（1） 主要部門の動向（令和3年第Ⅱ四半期（4～6月）の状況）

① 需要動向

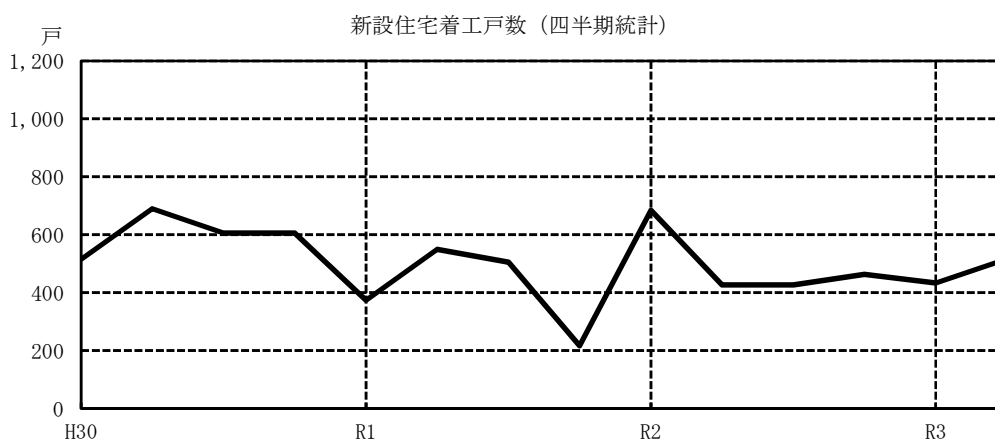
【個人消費】 ○ 第Ⅱ四半期（4～6月）の大型小売店等販売額は約176億円（前年同期比7.6%の減少）となり、6四半期振りに前年の水準を下回った。

○ 自動車新規登録台数は3,745台（前年同期比11.9%の増加）となり、6四半期振りに前年の水準を上回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は517戸（前年同期比21.1%の増加）となり、2四半期振りに前年の水準を上回った。

○ 公共工事等受注額は約63億円（前年同期比21.7%の減少）となり、3四半期振りに前年の水準を下回った。



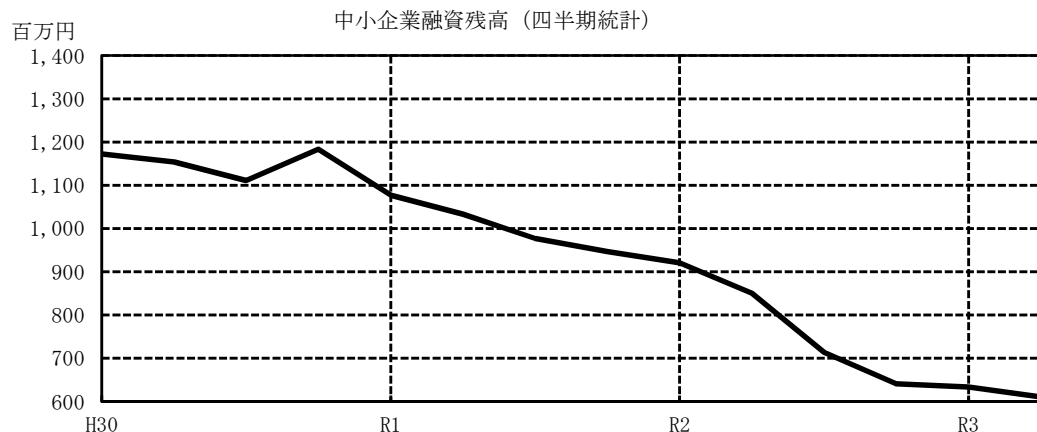
【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、35.9（前年同期比242.5%の上昇）となり、令和元年第2四半期以来、8四半期振りに前年の水準を上回った。

② 企業動向

【生産活動】 ○ 第Ⅱ四半期（4～6月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約33億円（前年同期比6.8%の増加）となり、4四半期連続で前年の水準を上回った。

【企業活動】 ○ いわき市中小企業融資残高は約6.1億円（前年同期比28.2%の減少）となり、平成31年第Ⅰ四半期以来、10四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 負債1千万円以上の企業倒産件数は2件（前年同期と同水準）となった。

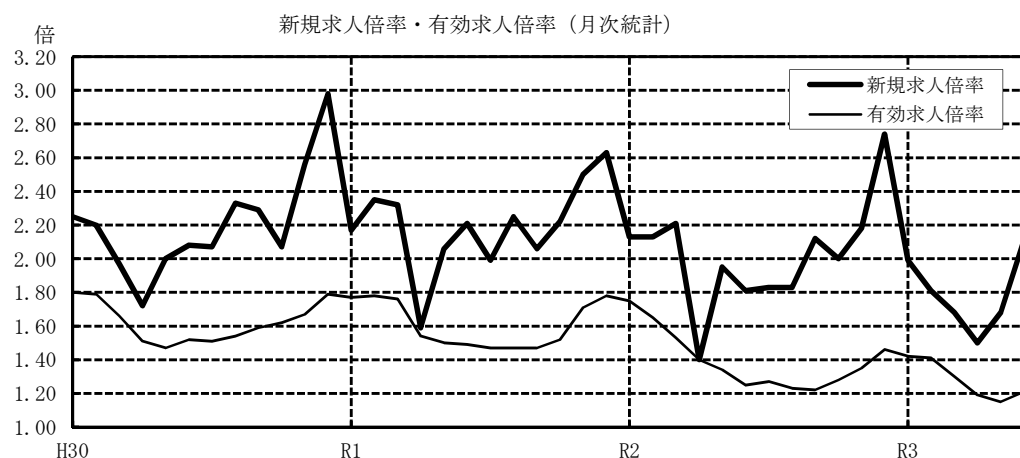


③ 雇用情勢

【雇 用】 ○ 6月の新規求人倍率は2.11倍（前年同月より0.30ポイントの上昇）となり、2ヵ月振りに前年の水準を上回った。

○ 6月の有効求人倍率は1.21倍（前年同月より0.04ポイントの低下）となり、19ヵ月連続で前年の水準を下回った。

○ 第Ⅱ四半期（4～6月）の雇用保険受給者実人員は3,791人（前年同期比1.0%の減少(=改善)）となり2四半期連続で前年の水準を下回った(改善した)。



(2) 主要経済データ

区 分	需要動向													
	個人消費				建設需要						観光需要			
	大型小 売店等 販売額	前年 同期比	自動車 新規登 録台数	前年 同期比	新設住 宅着工 戸数	前年 同期比	建築確 認申請 受付件 数	前年 同期比	公共工 事等受 注額	前年 同期比	観光施設利 用者指数 (H24・四 半期平均 =100)	前年 同期比	入湯税 調定人 員	前年 同期比
年 月	(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)		(%)	(人)	(%)
【年次統計】														
平成28年	81,763	2.5	20,034	-4.5	3,420	12.4	1,559	-11.0	49,098	1.5	398	-6.8	706,408	-7.4
29年	79,785	-2.4	20,681	3.2	3,448	0.8	1,467	-5.9	42,827	-12.8	398	0.1	696,264	-1.4
30年	77,103	-3.4	20,332	-1.7	2,417	-29.9	1,292	-11.9	23,677	-44.7	391	-1.8	678,555	-2.5
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	370	-5.4	640,323	-5.6
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	193	-47.9	359,932	-43.8
【四半期統計】														
令和元年 III	18,989	-3.2	5,243	10.8	505	-16.7	272	-15.5	9,374	31.3	128.3	-2.3	168,606	-7.7
IV	19,454	-2.1	5,357	11.2	217	-64.2	220	-25.9	9,657	3.9	75.2	-13.5	155,302	-7.0
令和2年 I	18,513	1.8	5,631	-6.6	684	82.9	222	-25.8	13,889	-36.9	56.1	-26.4	161,119	-3.1
II	19,037	4.0	3,347	-25.1	427	-22.4	237	-19.1	7,978	93.6	10.5	-88.4	31,310	-79.1
III	19,677	3.6	4,585	-12.6	427	-15.4	288	5.9	9,350	-0.3	64.3	-49.9	55,549	-67.1
IV	19,772	1.6	4,542	-15.2	463	113.4	248	12.7	16,283	68.6	62.0	-17.5	111,954	-27.9
令和3年 I	18,974	2.5	5,541	-1.6	434	-36.5	279	25.7	53,279	283.6	30.7	-45.2	57,466	-64.3
II	17,586	-7.6	3,745	11.9	517	21.1	273	15.2	6,251	-21.7	35.9	242.5	50,519	61.4
【月次統計】														
令和元年7月	6,129	-7.3	1,680	6.0	215	-24.0	94	-17.5	2,174	45.1	32.4	-5.3	45,690	-7.4
8月	6,708	-1.2	1,459	9.1	79	-66.1	85	-15.0	2,717	88.2	63.1	2.7	49,648	-7.1
9月	6,152	-1.0	2,104	16.1	211	134.4	93	-13.9	4,483	6.8	32.7	-8.2	73,268	-8.3
10月	5,936	-3.9	1,289	-21.1	143	-32.9	71	-37.2	5,354	5.9	22.2	-22.9	55,266	-0.4
11月	5,961	0.2	2,337	33.5	13	-91.1	65	-39.8	2,534	65.5	26.1	-12.4	47,817	-8.8
12月	7,557	-2.3	1,731	20.8	61	-75.3	84	10.5	1,769	-34.8	26.9	-5.0	52,219	-11.7
令和2年1月	6,043	-2.0	1,640	-6.2	178	54.8	72	-4.0	1,897	-61.0	24.8	5.1	55,217	-0.5
2月	5,916	5.3	1,717	-9.2	368	150.3	73	-34.8	2,501	62.2	22.9	4.8	56,886	12.7
3月	6,554	2.5	2,274	-4.9	138	23.2	77	-31.3	9,492	-39.2	8.3	-73.0	49,016	-18.7
4月	6,185	2.8	1,124	-16.9	165	13.8	80	-23.8	730	-38.2	2.1	-92.4	20,442	-60.0
5月	6,434	4.5	851	-42.4	66	-25.8	66	-31.3	2,246	145.7	0.5	-98.6	7,694	-83.9
6月	6,418	4.8	1,372	-16.1	196	-38.0	91	-1.1	5,002	147.0	7.9	-71.8	3,174	-93.8
7月	6,405	4.5	1,485	-11.6	152	-29.3	94	0.0	3,188	46.6	17.0	-47.6	8,779	-80.8
8月	7,047	5.1	1,243	-14.8	148	87.3	95	11.8	2,668	-1.8	25.9	-58.9	18,273	-63.2
9月	6,225	1.2	1,857	-11.7	127	-39.8	99	6.5	3,494	-22.1	21.4	-34.7	28,497	-61.1
10月	6,223	4.8	1,633	26.7	174	21.7	87	22.5	4,170	-22.1	19.3	-12.8	35,442	-35.9
11月	6,005	0.7	1,588	-32.0	154	1,084.6	80	23.1	2,038	-19.6	23.3	-10.8	37,682	-21.2
12月	7,544	-0.2	1,321	-23.7	135	121.3	81	-3.6	10,075	469.4	19.4	-27.9	38,830	-25.6
令和3年1月	6,470	7.1	1,494	-8.9	83	-53.4	78	8.3	2,538	33.8	8.6	-65.2	19,058	-65.5
2月	6,025	1.8	1,743	1.5	220	-40.2	90	23.3	38,845	1,453.2	8.2	-64.1	14,694	-74.2
3月	6,479	-1.1	2,304	1.3	131	-5.1	111	44.2	11,897	25.3	13.9	66.9	23,714	-51.6
4月	5,743	-7.1	1,276	13.5	175	6.1	84	5.0	1,739	138.1	11.4	443.3	16,285	-20.3
5月	6,047	-6.0	1,187	39.5	165	150.0	86	30.3	1,505	-33.0	12.5	2,490	16,890	119.5
6月	5,796	-9.7	1,282	-6.6	177	-9.7	103	13.2	3,007	-39.9	11.9	51.4	17,344	446.4
出典：	いわき市産業 創出課		いわき自動車検査登 録事務所、全国軽自 動車協会連合会いわ き支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協 同組合、(社)福島 県建設業協会いわ き支部		いわき市産 業創出課（市 内主要観光施 設の利用者数 を指数化）		いわき市市民 税課	

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。

四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分 年 月	企業動向											
	生産活動				企業活動							
	いわき市 中央卸売 市場取扱 高	前年 同期比	小名浜港 輸入通関 実績	前年 同期比	いわき 市中小 企業融 資残高		いわき 市中小 企業融 資利率		信用保 証承諾 額		信用保 証協会 代位弁 済	
					(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
【年次統計】												
平成28年	14,214	-2.1	224,693	-25.7	1,235	-13.6	2.03	-0.2	17,079	-7.1	608	60.9
29年	14,058	-1.1	319,842	42.3	1,207	-2.3	1.94	-0.1	15,790	-7.5	496	-18.5
30年	13,933	-0.9	378,337	18.3	1,155	-4.3	2.04	0.1	18,640	18.1	602	21.6
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9
【四半期統計】												
令和元年 III	3,435	-5.2	81,893	-8.3	977	-12.0	2.05	0.18	5,706	29.0	193	377.4
IV	3,471	-13.8	77,445	-11.6	947	-20.0	2.08	0.09	5,430	8.5	122	-58.7
令和2年 I	2,831	5.6	74,638	-12.5	921	-14.5	2.00	0.13	6,310	31.2	243	-55.8
II	3,078	-7.0	89,268	-11.3	851	-17.7	2.20	0.01	27,678	433.4	113	12.2
III	3,587	4.4	82,469	0.7	713	-27.0	2.20	0.15	21,271	272.8	142	-26.2
IV	4,054	16.8	75,231	-2.9	641	-32.3	2.20	0.12	12,703	133.9	63	-48.6
令和3年 I	3,000	6.0	69,240	-7.2	634	-31.2	2.10	0.10	18,749	197.1	113	-53.4
II	3,287	6.8	77,893	-12.7	610	-28.2	2.18	-0.02	7,023	-74.6	19	-83.4
【月次統計】												
令和元年7月	1,150	-3.8	31,595	-3.4	995	-11.8	2.20	0.43	1,987	26.7	79	-
8月	1,231	-2.2	22,179	10.5	962	-13.6	2.20	0.43	1,663	14.0	22	723.5
9月	1,054	-10.1	28,119	-23.1	975	-10.6	1.75	-0.30	2,056	47.3	92	143.9
10月	1,026	-7.4	20,179	-44.5	956	-30.7	2.20	0.11	1,578	10.4	25	-5.7
11月	1,121	-1.1	31,312	23.8	945	-11.9	2.20	0.35	1,645	17.2	62	-39.2
12月	1,324	-25.8	25,954	-0.2	939	-14.4	1.85	-0.20	2,207	1.8	34	-79.3
令和2年1月	995	5.4	21,821	-37.6	928	-14.4	2.20	0.60	1,588	54.7	14	-80.0
2月	758	-19.2	25,264	-20.1	925	-14.1	1.60	-0.28	1,668	5.4	63	70.3
3月	1,079	35.1	27,553	47.1	910	-15.0	2.20	0.05	3,054	38.8	165	-62.4
4月	970	-17.5	29,469	-25.7	888	-15.4	2.20	0.04	3,832	160.9	49	-
5月	1,039	-1.3	33,087	14.7	868	-15.9	-	-	10,263	484.4	64	-33.2
6月	1,069	-1.2	26,712	-16.9	795	-21.9	-	-	13,582	591.6	0	-100.0
7月	1,225	6.5	29,546	-6.5	740	-25.6	-	-	9,497	377.9	15	-80.9
8月	1,260	2.3	20,951	-5.5	717	-25.5	2.20	0.00	6,376	283.5	0	-100.0
9月	1,102	4.6	31,972	13.7	684	-29.8	2.20	0.45	5,397	162.5	127	38.2
10月	1,141	11.2	32,673	61.9	660	-31.0	2.20	0.00	4,270	170.6	15	-41.3
11月	1,011	-9.8	25,594	-18.3	640	-32.2	-	-	3,640	121.3	13	-79.9
12月	1,902	43.7	16,964	-34.6	622	-33.7	2.20	0.35	4,793	117.2	35	2.6
令和3年1月	942	-5.3	20,031	-8.2	632	-31.9	2.20	0.00	2,314	45.7	56	290.5
2月	974	28.6	23,844	-5.6	641	-30.7	2.20	0.60	5,005	200.1	2	-97.5
3月	1,084	0.5	25,365	-7.9	628	-31.0	1.90	-0.30	11,430	274.3	55	-66.7
4月	1,133	16.7	25,825	-12.4	622	-30.0	2.20	0.00	3,559	-7.1	0	-100.0
5月	1,104	6.3	24,688	-25.4	611	-29.6	2.20	-	1,289	-87.4	0	-100.0
6月	1,051	-1.7	27,380	2.5	599	-24.7	2.15	-	2,175	-84.0	19	-
出典：	いわき市中央 卸売市場（水 産）		横浜税関		いわき市産業創出課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値） ”-” は実績なし。実績ない月は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会			

（注）－は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。

四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分	企業動向											
	企業活動		倒産				中小企業DI調査					
	法人市 民税調 定額	前年 同期比	企業倒 産件数		企業倒 産負債 総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス 業	総合 (全業種)
(百万円)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)							
年 月	(百万円)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】												
平成28年	4,532	-11.2	8	-	7,538	-	-	-	-	-	-	-
29年	4,610	1.7	9	12.5	2,295	-69.6	-	-	-	-	-	-
30年	5,111	10.9	15	66.7	9,581	317.5	-	-	-	-	-	-
令和元年	4,101	-19.8	14	-6.7	1,669	-82.6	-	-	-	-	-	-
令和2年	4,199	2.4	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】												
令和元年Ⅲ	920	-14.5	2	-50.0	37	-94.4	-	-	-	-	-	-
Ⅳ	1,363	-17.9	3	-50.0	79	-99.1	-	-	-	-	-	-
令和2年Ⅰ	542	-0.7	5	25.0	629	-46.4	-	-	-	-	-	-
Ⅱ	1,434	12.6	2	-60.0	55	-85.5	-	-	-	-	-	-
Ⅲ	1,125	22.3	4	100.0	313	745.9	-	-	-	-	-	-
Ⅳ	1,099	-19.4	3	0.0	189	139.2	-	-	-	-	-	-
令和3年Ⅰ	392	-27.7	2	-60.0	198	-68.5	-	-	-	-	-	-
Ⅱ	1,223	-14.7	2	0.0	165	200.0	-	-	-	-	-	-
【月次統計】												
令和元年7月	480	0.1	1	0.0	27	-86.0	-	-	-	-	-	-
8月	352	-29.2	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
9月	88	-11.4	1	0.0	10	-79.6	-34.3	-66.7	-44.4	-50.0	-50.0	-43.6
10月	129	-22.7	2	100.0	56	-93.5	-	-	-	-	-	-
11月	902	-35.6	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
12月	332	259.6	1	0.0	23	130.0	-14.3	-20.0	-11.1	-41.7	10.0	-15.9
令和2年1月	84	-46.5	4	300.0	593	-28.6	-	-	-	-	-	-
2月	147	25.7	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
3月	312	14.2	1	-50.0	36	-81.4	-50.0	-50.0	-33.3	-50.0	-40.0	-46.3
4月	170	8.7	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
5月	301	-6.5	1	0.0	26	-87.0	-	-	-	-	-	-
6月	963	21.1	1	-66.7	29	-76.6	-71.0	-30.0	-45.5	-70.0	-90.6	-64.4
7月	647	34.8	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
8月	345	-1.8	2	-	88	-	-	-	-	-	-	-
9月	133	50.7	2	100.0	225	2,150.0	-66.6	-50.0	-81.8	-41.6	-60.0	-61.7
10月	112	-13.7	1	-50.0	90	60.7	-	-	-	-	-	-
11月	915	1.5	2	-	99	-	-	-	-	-	-	-
12月	72	-78.3	0	-100.0	0	-100.0	-59.4	-40.0	-50.0	-80.0	-70.0	-59.8
令和3年1月	84	0.5	1	-75.0	188	-68.3	-	-	-	-	-	-
2月	122	-17.0	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
3月	186	-40.3	0	-100.0	0	-100.0	-26.7	-16.6	-44.4	-75.0	-70.0	-41.3
4月	110	-35.3	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	293	-2.6	2	100.0	165	534.6	-	-	-	-	-	-
6月	820	-14.8	0	-100.0	0	-100.0	0.0	-10.0	-37.5	-54.6	-20.0	-17.7
出典：	いわき市市民税課(法人税割)		東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				福島県産業振興センター(前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比(各月末時点)) 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。

四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分 年 月	雇用						その他					
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)			
	(倍)	前年 同期比 (%p)	(倍)	前年 同期比 (%p)	(人)	前年 同期比 (%)	(千台)	(%)	家計動向	企業動向	雇用関連	総合
【年次統計】												
平成28年	2.14	0.02	1.67	0.00	13,934	-1.1	12,184	0.0	-	-	-	-
29年	2.12	-0.02	1.59	-0.08	14,073	1.0	12,117	-0.5	-	-	-	-
30年	2.21	0.09	1.62	0.03	13,079	-7.1	10,170	-16.1	-	-	-	-
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	-	-	-	-
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-
【四半期統計】												
令和元年 III	-	-	-	-	3,688	4.8	2,485	-1.8	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,500	13.4	2,408	1.9	-	-	-	-
令和2年 I	-	-	-	-	3,570	22.9	2,120	-2.6	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,830	13.1	1,531	-32.0	-	-	-	-
III	-	-	-	-	4,558	23.6	2,041	-17.9	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,869	10.5	2,068	-14.1	-	-	-	-
令和3年 I	-	-	-	-	3,493	-2.2	1,801	-15.0	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,791	-1.0	1,787	16.7	-	-	-	-
【月次統計】												
令和元年7月	1.99	-0.08	1.47	-0.04	1,278	8.9	794	-4.2	-	-	-	-
8月	2.25	-0.08	1.47	-0.07	1,229	-0.3	916	-0.5	39.5	30.8	43.8	38.1
9月	2.06	-0.23	1.47	-0.12	1,181	6.1	775	-0.9	-	-	-	-
10月	2.22	0.15	1.52	-0.10	1,143	2.6	818	3.0	-	-	-	-
11月	2.50	-0.06	1.71	0.04	1,166	17.8	803	1.1	37.8	42.3	25.0	38.1
12月	2.63	-0.35	1.78	-0.01	1,191	21.3	787	1.5	-	-	-	-
令和2年1月	2.13	-0.04	1.75	-0.02	1,246	22.8	740	2.8	-	-	-	-
2月	2.13	-0.22	1.65	-0.13	1,107	17.5	690	4.6	29.6	40.4	25.0	31.5
3月	2.21	-0.11	1.53	-0.23	1,217	28.4	689	-13.5	-	-	-	-
4月	1.40	-0.19	1.40	-0.14	1,161	9.5	488	-35.2	-	-	-	-
5月	1.95	-0.11	1.34	-0.16	1,162	0.6	450	-42.3	40.0	43.3	57.1	42.2
6月	1.81	-0.40	1.25	-0.24	1,507	28.7	593	-17.3	-	-	-	-
7月	1.83	-0.16	1.27	-0.20	1,564	22.4	671	-15.5	-	-	-	-
8月	1.83	-0.42	1.23	-0.24	1,514	23.2	691	-24.6	42.0	31.7	33.3	39.2
9月	2.12	0.06	1.22	-0.25	1,480	25.3	679	-12.4	-	-	-	-
10月	2.00	-0.22	1.28	-0.24	1,389	21.5	704	-13.9	-	-	-	-
11月	2.18	-0.32	1.35	-0.36	1,255	7.6	699	-12.9	38.8	30.4	46.4	38.0
12月	2.74	0.11	1.46	-0.32	1,225	2.9	664	-15.5	-	-	-	-
令和3年1月	1.99	-0.14	1.42	-0.33	1,215	-2.5	555	-25.1	-	-	-	-
2月	1.81	-0.32	1.41	-0.24	1,131	2.2	557	-19.3	46.8	38.5	62.5	46.6
3月	1.68	-0.53	1.30	-0.23	1,147	-5.8	690	0.0	-	-	-	-
4月	1.50	0.10	1.19	-0.21	1,244	7.1	610	24.9	-	-	-	-
5月	1.68	-0.27	1.15	-0.19	1,196	2.9	573	27.4	48.8	43.4	53.6	48.0
6月	2.11	0.30	1.21	-0.04	1,351	-10.4	603	1.7	-	-	-	-
出典：	ハロワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業創出課（H30.1調査開始）景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。			

2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和3年第Ⅱ四半期（4～6月）の状況）

（１）ＣＩ（コンポジット・インデックス）

① 概要

6月のCIは、先行指数が80.0、一致指数が68.4、遅行指数が63.5となった。

② 指数別の動向（指数は平成27年の水準を100とする）

【先行指数】 6月は80.0ポイントで、2ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、新規求人倍率（2ヵ月振り）、いわき市中小企業融資残高（3ヵ月連続）等の3指標、マイナスの指標は、自動車新規登録台数（2ヵ月連続）、新設住宅着工戸数（3ヵ月振り）等の5指標であった。

【一致指数】 6月は68.4ポイントで、2ヵ月連続で上昇した。

寄与度がプラスの指標は、中小企業D I（全業種）（3ヵ月振り）、有効求人倍率（3ヵ月連続）等の4指標、マイナスの指標は、鉱工業生産指数（3ヵ月振り）、鉱工業在庫指数（3ヵ月振り）等の4指標であった。

【遅行指数】 6月は63.5ポイントで、2ヵ月振りに下降した。

寄与度がプラスの指標は、観光施設利用者指数（3ヵ月振り）、入湯税調定人員（2ヵ月連続）の2指標、マイナスの指標は、いわき市中央卸売市場取扱高（3ヵ月振り）、雇用保険受給者実人員（逆）（2ヵ月振り）等の6指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成27年＝100）

区 分		令和2年						令和3年					
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
先 行 指 数（C I）		76.2	76.3	77.1	75.3	72.2	71.6	73.2	77.6	77.8	78.3	76.8	80.0
前月差(ポイント)（寄与度合計）		-0.20	0.06	0.81	-1.76	-3.15	-0.57	1.63	4.33	0.24	0.50	-1.52	3.17
先行系列 寄与度内訳	1. 自動車新規登録台数	1.70	0.16	0.66	0.23	-1.39	-0.23	-0.68	1.25	-0.24	0.79	-1.26	-1.25
	2. 新設住宅着工戸数	-1.15	0.34	0.07	0.39	-0.19	-0.11	-0.99	2.25	-0.60	0.07	0.44	-0.28
	3. 建築確認申請受付件数	0.53	1.01	-0.54	-0.43	0.32	-0.59	1.40	0.08	0.55	-1.53	1.02	-0.13
	4. 鉱工業在庫率指数（逆）	0.19	0.07	0.26	-0.89	-0.57	-0.51	1.99	-0.48	0.54	-0.40	-0.96	0.21
	5. 新規求人倍率	0.05	-0.71	2.13	-0.66	-0.61	1.43	-0.81	-1.16	0.10	1.24	-1.26	2.47
	6. いわき市中小企業融資残高	-1.40	0.08	-1.64	-0.38	-0.39	-0.47	0.80	0.59	-0.03	0.51	0.26	2.23
	7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	0.00	-0.73	0.02	0.02	-0.26	0.03	0.03	1.95	-0.03	-0.03	0.28	-0.03
	8. 一致指数トレンド成分	-0.11	-0.17	-0.16	-0.04	-0.05	-0.13	-0.11	-0.15	-0.05	-0.14	-0.03	-0.04
一 致 指 数（C I）		70.9	64.9	66.2	71.4	68.7	66.5	67.5	66.6	64.7	64.4	67.4	68.4
前月差(ポイント)（寄与度合計）		3.08	-6.01	1.27	5.22	-2.74	-2.13	0.97	-0.89	-1.91	-0.25	3.00	0.97
一致系列 寄与度内訳	1. 大型小売店等販売額	-0.06	0.11	-0.79	0.78	-0.90	-0.19	1.51	-1.10	-0.62	-1.20	0.25	-0.76
	2. 鉱工業生産指数	0.80	-1.66	1.07	1.65	-1.72	-0.49	0.22	-1.17	-0.95	0.51	1.59	-1.11
	3. 鉱工業出荷指数	1.69	-1.19	0.20	0.62	-0.50	-0.03	0.69	-0.69	-1.22	0.45	1.11	-0.18
	4. 鉱工業在庫指数	-0.63	-0.59	-0.42	0.91	0.55	-0.30	-0.16	-0.53	-0.45	0.52	0.35	-0.90
	5. 小名浜港輸入通関実績	0.23	-0.18	0.25	0.41	-0.34	-1.10	0.41	0.41	0.08	-0.10	0.00	0.32
	6. 有効求人倍率	0.12	-0.94	-0.90	0.88	0.04	0.34	-0.18	0.46	-0.53	0.09	0.18	1.02
	7. 高速道路出入交通量	0.95	-1.54	1.70	-0.03	0.14	-0.49	-1.51	1.73	0.56	-0.51	-0.48	0.96
	8. 中小企業D I（全業種）	-0.01	-0.01	0.16	-0.01	-0.01	0.12	-0.01	-0.01	1.21	-0.00	-0.00	1.60
遅 行 指 数（C I）		59.6	58.7	61.3	63.3	63.7	66.2	61.6	64.4	64.9	63.0	64.6	63.5
前月差(ポイント)（寄与度合計）		4.15	-0.97	2.63	2.04	0.41	2.42	-4.59	2.84	0.52	-1.89	1.56	-1.08
遅行系列 寄与度内訳	1. 公共工事受注額	0.22	-0.08	-0.35	-0.43	-0.22	1.47	0.09	1.47	0.26	0.03	-0.23	-0.43
	2. 入湯税調定人員	1.46	1.46	0.45	1.51	0.56	-0.22	-1.55	-0.93	1.64	-1.49	0.81	0.10
	3. 観光施設利用者指数	1.41	-1.36	1.48	1.50	1.10	-1.42	-1.56	0.31	1.24	-0.41	-0.74	0.67
	4. 法人市民税調定額	0.36	-0.60	0.77	-1.11	0.07	-0.17	0.01	0.12	-0.63	0.24	0.48	-0.08
	5. 雇用保険受給者実人員（逆）	0.01	0.01	0.16	0.45	0.44	0.65	-0.22	0.50	0.49	-1.13	1.07	-0.48
	6. いわき市中央卸売市場取扱高	0.78	-0.27	-0.59	1.03	-1.50	1.56	-0.64	0.33	-0.82	0.55	0.21	-0.75
	7. いわき市中小企業融資利率	0.00	0.00	0.83	-0.88	0.00	0.66	-0.62	1.18	-1.62	0.44	-0.01	-0.09
	8. 一致指数トレンド成分	-0.09	-0.13	-0.12	-0.04	-0.05	-0.11	-0.10	-0.13	-0.04	-0.12	-0.03	-0.03

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

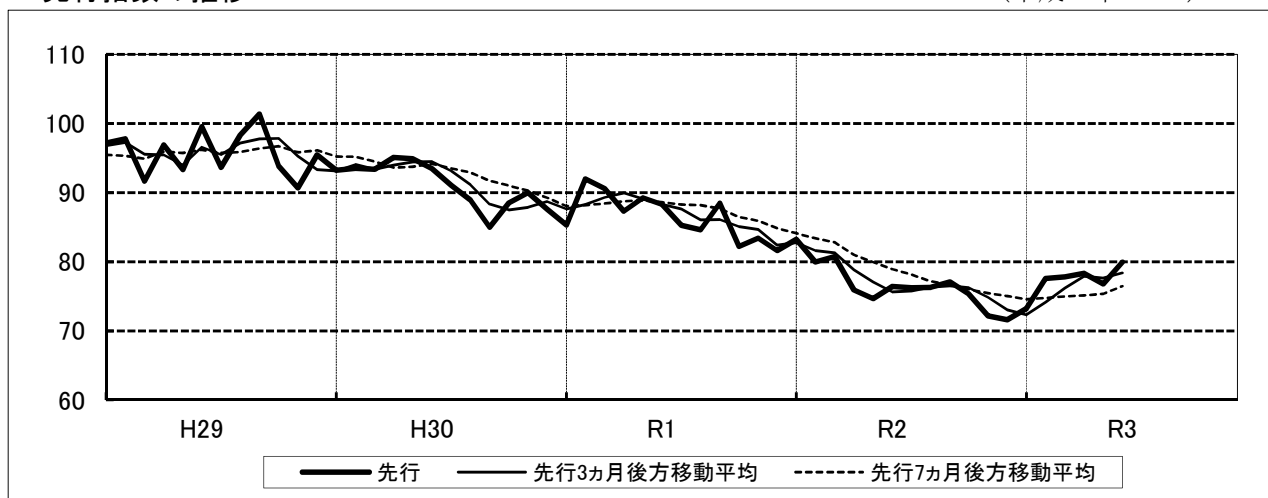
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

④ CIの推移

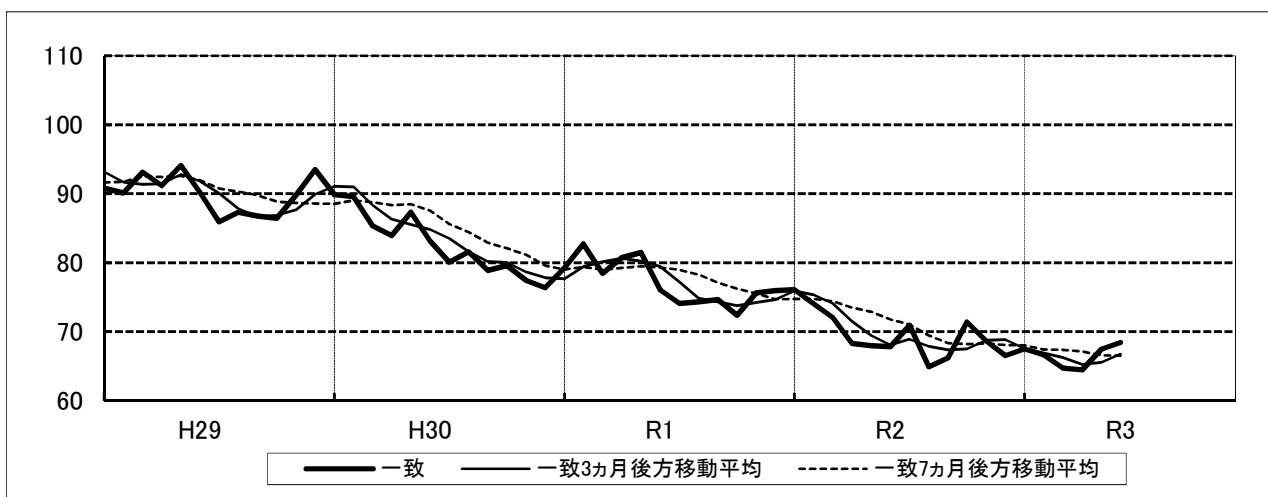
・先行指数の推移

(平成27年＝100)



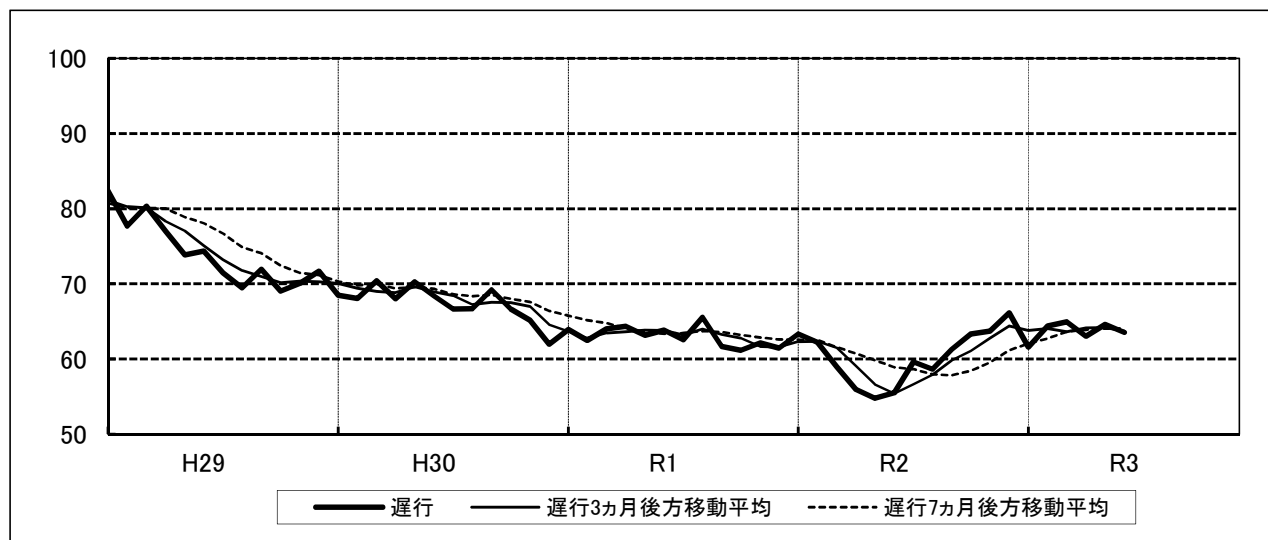
・一致指数の動向

(平成27年＝100)



・遅行指数の動向

(平成27年＝100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
24	101.2	102.8	96.1	115.2	117.0	121.4	116.2	106.0	99.9	106.9	102.0	104.5
25	105.6	110.0	115.4	110.6	117.2	117.9	126.8	127.0	118.5	117.9	129.6	120.5
26	120.6	131.3	123.2	102.6	113.0	112.9	113.4	112.3	111.7	111.1	105.6	109.8
27	109.4	98.8	105.5	98.2	96.1	99.4	101.0	98.9	99.0	98.7	99.2	95.6
28	95.9	90.5	90.1	94.7	94.1	95.2	98.8	94.6	89.7	94.7	96.4	96.9
29	97.2	97.8	91.7	96.9	93.3	99.5	93.7	98.3	101.4	93.8	90.7	95.5
30	93.2	93.5	93.4	95.1	94.9	93.5	91.1	88.9	85.0	88.5	90.0	87.6
1	85.3	92.0	90.6	87.3	89.3	88.3	85.3	84.6	88.4	82.2	83.4	81.6
2	83.2	80.0	80.7	75.9	74.6	76.4	76.2	76.3	77.1	75.3	72.2	71.6
3	73.2	77.6	77.8	78.3	76.8	80.0						

・一致指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
24	86.7	91.9	104.6	98.2	96.0	92.8	93.0	97.1	96.9	100.5	105.4	104.6
25	104.5	106.9	108.6	106.4	106.2	102.3	105.1	108.4	103.7	102.6	104.4	105.5
26	104.1	101.0	107.9	101.3	105.9	105.7	104.6	106.9	105.3	103.7	101.1	101.3
27	102.1	100.8	99.4	102.5	101.4	99.2	101.0	102.2	102.3	99.5	96.5	93.3
28	94.6	95.1	88.6	91.9	88.9	90.8	89.5	87.4	91.7	93.2	94.6	94.1
29	90.8	90.1	93.1	91.2	94.1	90.2	85.9	87.3	86.8	86.4	89.8	93.5
30	89.9	89.6	85.3	83.9	87.3	83.2	80.1	81.6	78.9	79.6	77.4	76.4
1	79.2	82.7	78.4	80.7	81.5	76.1	74.1	74.3	74.7	72.4	75.6	75.9
2	76.1	74.0	72.1	68.3	68.0	67.8	70.9	64.9	66.2	71.4	68.7	66.5
3	67.5	66.6	64.7	64.4	67.4	68.4						

・遅行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
24	62.3	66.7	72.2	77.5	87.1	90.1	91.4	94.5	97.8	105.7	105.5	109.7
25	108.6	107.9	106.0	111.8	113.3	107.9	110.2	111.1	108.0	108.4	114.1	109.8
26	114.1	112.1	112.4	110.8	110.0	108.5	108.4	108.8	104.9	107.2	103.9	102.0
27	105.6	105.3	108.4	104.2	104.1	100.1	99.8	97.1	97.0	94.2	91.9	92.1
28	89.1	90.1	83.1	83.7	81.8	79.7	82.1	80.4	77.5	81.8	80.2	80.8
29	82.4	77.7	80.3	77.0	73.8	74.4	71.5	69.5	71.9	69.0	70.1	71.7
30	68.5	68.1	70.4	68.0	70.3	68.4	66.7	66.7	69.2	66.7	65.2	62.0
1	63.9	62.5	64.0	64.4	63.1	63.8	62.6	65.6	61.7	61.2	62.1	61.5
2	63.3	62.2	59.0	56.0	54.8	55.5	59.6	58.7	61.3	63.3	63.7	66.2
3	61.6	64.4	64.9	63.0	64.6	63.5						

(2) DI (デフュージョン・インデックス)

① 概要

【先行指数】 6月は、57.1%と2ヵ月振りに50%を上回った。

【一致指数】 6月は、62.5%と11ヵ月振りに50%を上回った。

【遅行指数】 6月は、28.6%と3ヵ月振りに50%を下回った。

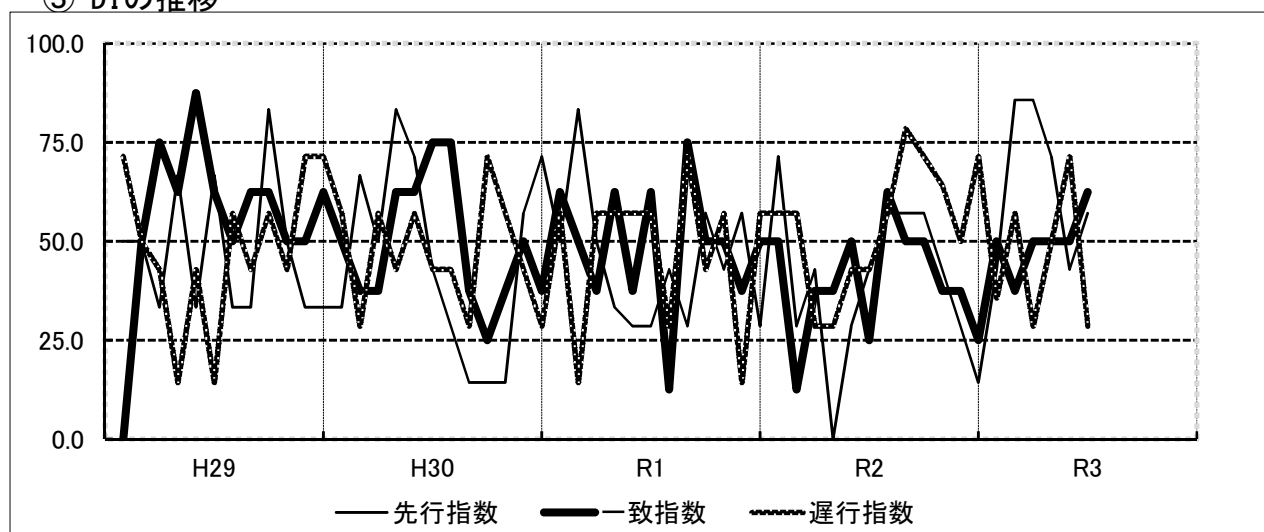
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (←景気動向指数利用の手引き-参照)

② DIの推移

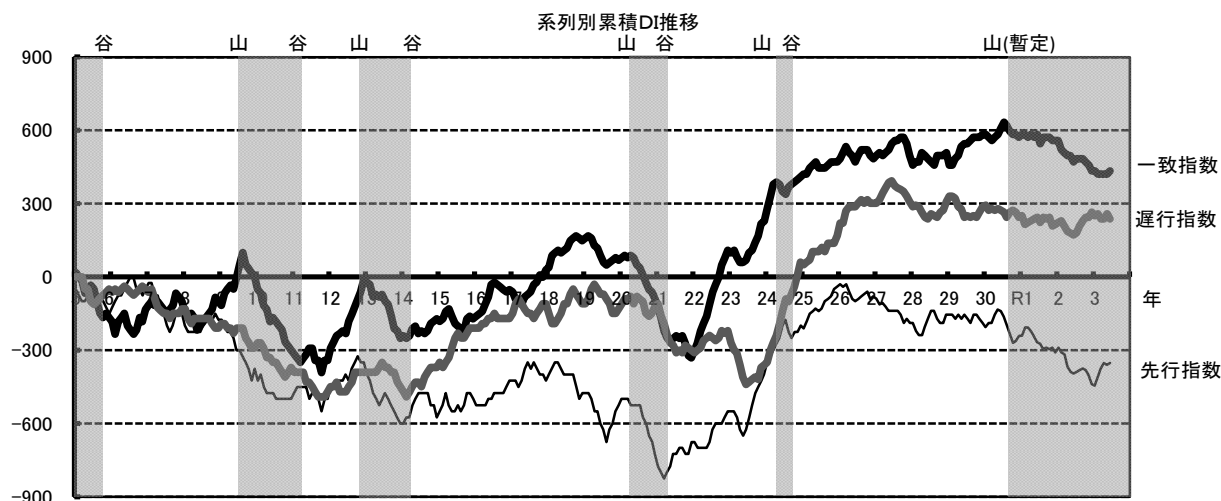
区 分	令和2年						令和3年					
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
先 行 指 数 (D . I)	57.1	57.1	57.1	42.9	28.6	14.3	42.9	85.7	85.7	71.4	42.9	57.1
一 致 指 数 (D . I)	62.5	50.0	50.0	37.5	37.5	25.0	50.0	37.5	50.0	50.0	50.0	62.5
遅 行 指 数 (D . I)	57.1	78.6	71.4	64.3	50.0	71.4	35.7	57.1	28.6	50.0	71.4	28.6

注) DIは、先行(7指標)、一致(8指標)、遅行(7指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

累積DI(t)=累積DI(t-1)+(DI(t)-50)

注2) DI及び累積DIは景気の方角性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) 影の部分には国における景気後退期を示す。

-景気動向指数利用の手引き-

(1) 景気動向指数の概要

- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方方向性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。

- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

(2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

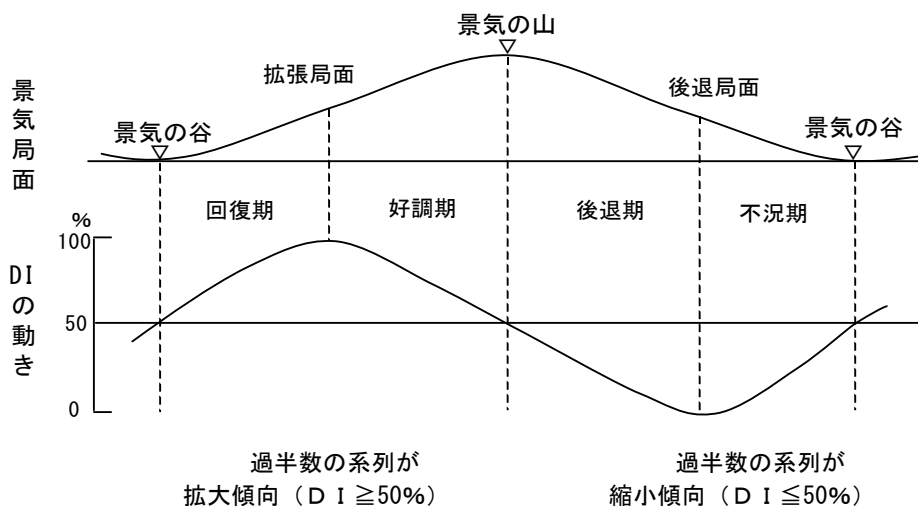
- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等8つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.htmlを参照）。

- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

(3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では8つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば $3 \div 8 = 0.375$ （DI=37.5%）と計算する。

- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



(4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S 26. 6.	S 26. 10.	第9循環	S 52. 10.	S 55. 2.	S 58. 2.
第2循環	S 26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10 (暫定)	

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項 目			内 容	原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワークいわき
	6 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業創出課
一致系列	1 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業創出課
	2 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	3 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	4 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	5 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通関して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	6 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワークいわき
	7 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
	8 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合-減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
遅行系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	3 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第Ⅰ四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業創出課
	4 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	5 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワークいわき
	6 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	7 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課

注) 季：X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前：原数値の前年同月比、原：(四半期)原数値、移：12ヵ月移動平均
逆：景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

【参考】国・県の動き

1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	(我が国経済の基調判断) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。 ・個人消費は、サービス支出を中心に弱い動きとなっている。 ・設備投資は、持ち直している。 ・輸出は、緩やかな増加が続いている。 ・生産は、持ち直している。 ・企業収益は、感染症の影響により、非製造業の一部に弱さが残るものの、持ち直している。企業の業況判断は、一部に厳しさは残るものの、持ち直しの動きがみられる。 ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる。 ・消費者物価は、このところ底堅さがみられる。 先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。 (内閣府「月例経済報告」令和3年8月公表分)
(2) 県の動向	県内の景気は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いている。 ・個人消費……一部に弱い動きがみられる。 ・建設需要……高水準にあるものの、弱い動きがみられる。 ・生産活動……一進一退の状況が続いている。 ・雇用・労働……厳しい状況にあるものの、緩やかな改善がみられる。 ・物 価……企業物価指数は前年を上回り、消費者物価指数は前年を下回っている。 ・企業・金融……企業倒産件数、負債総額はともに前年を上回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。 (福島県「最近の県経済動向」令和3年8月公表分)

2 景気動向指数(CI)

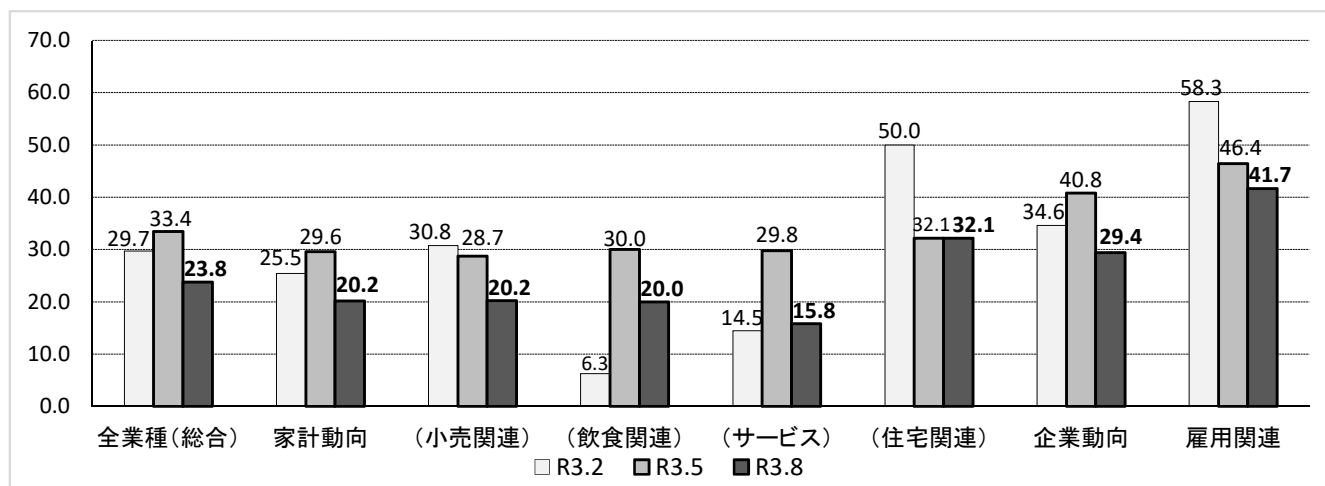
(1) 国の動向	6月のCI(速報値・平成27(2015)年=100)は、先行指数:104.1、一致指数:94.0、遅行指数:96.5となった。 先行指数は、前月と比較して1.5ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.57ポイント上昇し、12ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は1.00ポイント上昇し、10ヵ月連続の上昇となった。一致指数は、前月と比較して1.9ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.37ポイント上昇し、12ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.74ポイント上昇し、8ヵ月連続の上昇となった。遅行指数は、前月と比較して3.3ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.93ポイント上昇し、4ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.79ポイント上昇し、4ヵ月連続の上昇となった。 (内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和3年8月公表分)
(2) 県の動向	1 概 括 6月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数104.4ポイント、一致指数72.8ポイント、遅行指数84.3ポイントとなった。 先行指数は、前月(98.2ポイント)を6.2ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。 一致指数は、前月(71.2ポイント)を1.6ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。 遅行指数は、前月(87.4ポイント)を3.1ポイント下回り、6ヵ月振りの下降となった。 2 一致指数の動向 寄与度をみると、所定外労働時間指数が5ヵ月連続のプラス、有効求人倍率、鉱工業生産指数、生産財出荷指数、建築着工床面積(鉱工業)が2ヵ月振りのプラスとなった。 一方、最終需要財出荷指数が2ヵ月連続のマイナス、雇用保険受給者実人員、手形交換金額(1枚当たり)が2ヵ月振りのマイナス、百貨店・スーパー販売額(既存店)が4ヵ月振りのマイナスとなった。 内訳をみると、有効求人倍率がプラス2.20ポイント、生産財出荷指数プラス1.87ポイント、鉱工業生産指数がプラス0.98ポイント、建築着工床面積(鉱工業)がプラス0.75ポイント、所定外労働時間指数がプラス0.41ポイントでこれらの指標の動きが上昇に寄与した。 (福島県「福島県景気動向指数」令和3年8月公表分)

Ⅱ いわき市景気ウォッチャー調査：令和3年8月時点

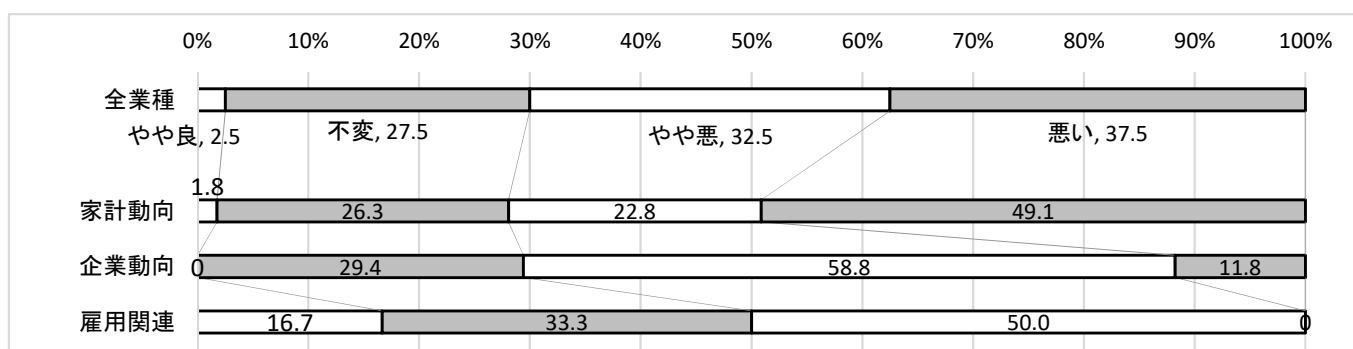
1 景気の現状について

(1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは23.8と、前回より9.7ポイントの低下となった。家計・企業・雇用関連のすべてで低下した。
- 主要業種別では、家計動向関連が20.2と前回より9.4ポイント低下した。家計の内訳では住宅関連が横ばいとなった以外、小売・飲食・サービスとも低下した。企業動向関連は29.4と11.4ポイント低下し、雇用関連は41.7と4.8ポイント低下した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、3カ月前と比べて「良くなっている」は0%であり、「やや良くなっている」が2.5%、「変わらない」が27.5%、「やや悪くなっている」が32.5%、「悪くなっている」が37.5%となった。



(2) 現状判断の理由

現状判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

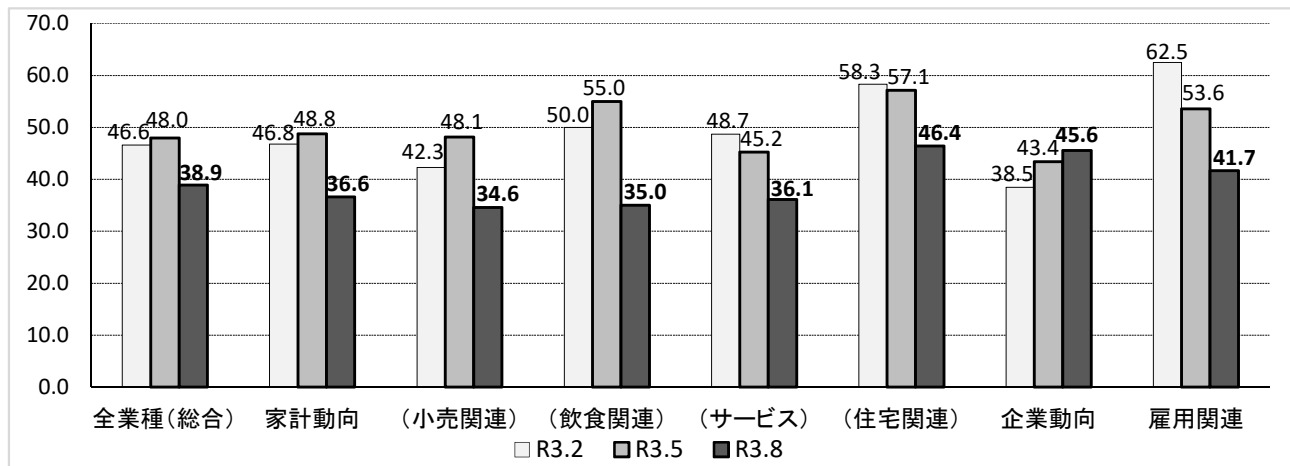
項 目 (家計)	良い	不変	悪い	合計	項 目 (企業)	良い	不変	悪い	合計	項 目 (雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	1	5	25	31	1. 受注量や販売量	0	3	6	9	1. 求人数の動き	0	1	0	1
2. 販売量の動き	0	3	6	9	2. 受注価格や販売価格	0	0	1	1	2. 求職者数の動き	0	0	0	0
3. 単価の動き	0	2	0	2	3. 取引先の様子	0	2	5	7	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	0	2	7	9	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	1	1	2	4
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	0	1	1
6. その他	0	3	3	6										
合 計	1	15	41	57	合 計	0	5	12	17	合 計	1	2	3	6

2 景気の先行きについて

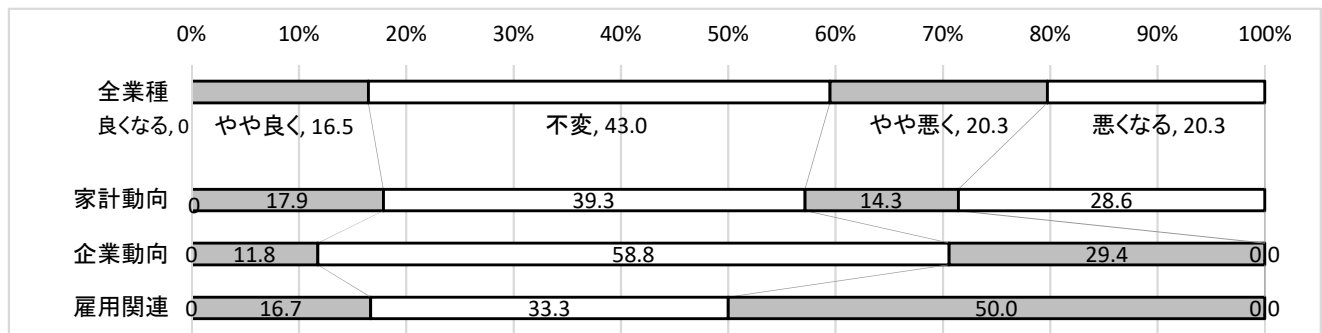
(1) 先行き判断DI

○ 全業種（総合）の先行き判断DIは38.9と、前回より9.0ポイントの低下となった。企業動向関連は上昇したが、家計・雇用関連は低下した。

○ 主要業種別では、家計動向関連が36.6と前回より12.1ポイント低下した。家計の内訳では小売・飲食・サービス・住宅関連のすべてで低下した。企業動向関連は45.6と2.2ポイント上昇し、雇用関連は41.7と11.9ポイント低下した。



○ 全業種（総合）の回答内容をみると、2～3ヵ月先には「良くなる」は0%であり、「やや良くなる」が16.5%、「変わらない」が43.0%、「やや悪くなっている」が20.3%、「悪くなっている」が20.3%となった。



(2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計では「来客者数の動き」、企業動向関連では「受注量や販売量」、雇用動向関連では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	3	10	12	25	1. 受注量や販売量	1	6	2	9	1. 求人数の動き	0	0	1	1
2. 販売量の動き	1	2	4	7	2. 受注価格や販売価格	0	1	1	2	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	0	0	0	0	3. 取引先の様子	1	2	2	5	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	1	6	6	13	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	1	1	2
5. 競争相手の様子	0	0	1	1	5. その他	0	1	0	1	5. その他	1	0	0	1
6. その他	6	3	1	10										
合 計	11	21	24	56	合 計	2	10	5	17	合 計	1	2	2	5

3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。

記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

(街の様子・景気、事業者の動向等)

- 早めにコロナ収束願いたい。
- 人が歩いていない。最悪の状況である。
- 人出がない。もう少し適切な感染の情報があれば。疑心暗鬼の状態である。
- ファミリー、若者がコロナ禍の中で、がまんの時が続いている。
- 3ヶ月前ぐらいから悪化し、回復していない状態が続いている。
- コロナ感染者数が増えると、人の流れが減少している状況になる。
- コロナ禍の影響が凄すぎて予測不能!!
- とにかくコロナが落ちつかないとどうすることもできない。
- コロナ次第で景気がどのようにもかわる。
- いったん完了した雇用調整助成金を再申請する事業者が徐々に増えてきたことにより、企業が時短営業、休業しているということで受注減少、売上減少となっていることが見て取れます。
- いわき市内の景気そのものは昨年同時期より回復しているかもしれないが、弊社においては半導体供給問題による影響を受け、厳しい状況が継続している。
- 飲食店・周辺業者、またそこで働く従業員・パート・アルバイトの収入がない中で、その人々を商売相手にしている我々も非常にきびしい状況を強いられている。
- コロナウィルスによる不要不急による外出制限により売上減少。旅客運送業であるが、協力金をお願いしたい状況。

(まん延防止等重点措置、緊急事態宣言等)

- コロナによるまん延防止など人の動きが抑制され、市内外の人流が止まっている。首都圏の通常活動が地方の活性化へのカギを握っている。早2年、この先終息がいつになるかが不安。
- 市内においての感染拡大、まん延防止措置の宣言もあり商店街の人出も極端に少なく売上に大きく影響があります。
- 緊急事態宣言9/12までは何も動かない。それ以後はコロナ感染者数による。
- 現在まん延防止等重点措置(～9/12)がいわき市に適用されているので、その影響で景気も変動するように思います。
- まん延防止等重点措置、緊急事態宣言、不要不急の外出自粛、県民割プラスの開始延期、ワクチン接種状況、等々、新型コロナ禍の今後の推移により、先行きが不透明で、借入金も手持ち資金も減少する一途である。
- まん延防止動向受け、飲食・小売業の業績影響が出ている、「いわき市の活力維持」のため他業種間の助け合い・支え合いが重要と認識している。

(今後の見通し、ワクチン等について)

- ワクチン接種率が高まれば、市場の人々の動きも回復し景気も上向きになると期待したい。
- サービス系(飲食系)はコロナ感染拡大によりかなり大きいダメージを受けている。一日も早く多くの若い年令層の皆様へワクチン接種ができる様行政に期待する。
- 前回のアンケート時には予想もしていなかったくらい、コロナの感染者が増え、暫くは厳しい状態が続くと思われる。
- ワクチン接種の進行&今までのインフルエンザの違い(変らない)の理解(市民)&病院が進まないとなかなか変らない。
- 現状の来客数や販売状況から、今後に関して良くなるという材料はない。
- 販売先が飲食店・旅館さん等が多く、コロナが収束しない限り上向きにならない。

－ いわき市景気ウォッチャー調査の概要 －

(1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

(2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連81人、企業動向関連23人、雇用関連8人の合計112人を調査客体とする。
今回（令和3年8月）の調査の回答数は80人（有効回答率71.4%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	81人	72%	57人	
小売関連	36人	32%	26人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	10人	9%	5人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	26人	23%	19人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	8%	7人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	23人	21%	17人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	7%	6人	人材派遣、職業紹介等
合 計	112人	100%	80人	

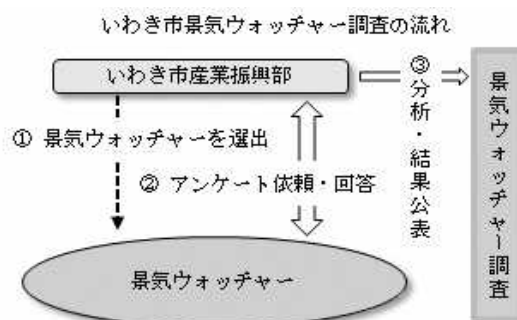
(3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

(4) 調査方法

いわき市産業創出課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業創出課と外部調査機関（㈱社会システムプランニング）が協力で行う。調査結果は、産業創出課が原則として調査の翌月に公表する。



(5) D I の算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることにより D I を算出する。

D I は50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3カ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
回答区分	先行き判断 (3カ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票（令和 年度第 回）

平成 30 年 月 日

ご回答者

ご所属・お名前 様

あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。

該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。

【質問1】 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
【質問2】 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【質問3】 あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、 2～3ヵ月先は、今より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
【質問4】 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【自由回答（市内景気動向に関して）】	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業創出課
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 1 1 2 6 (直通)
e-mail : sangyosoushutsu@city.iwaki.lg.jp
